

平成29年 6月 12日

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

議席番号 2番 大山町議会議員


池田 幸恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 60分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1、 名和総合運動公園陸上競技場について</p> <p>大山町は「まったなし！健康づくり！」をキャッチコピーに『食』『運動』『健康』を3本柱に据え、町民総健康づくりを展開し、町政の重要なテーマとして取り組まれていることは素晴らしいことだと思います。</p> <p>町内には、1993年(平成5年)に全天候型陸上競技場としては布施陸上競技場に次いで鳥取県内2番目に、名和総合運動公園陸上競技場が設立されウォーキングや、スポ少の練習、陸上競技大会など、沢山の住民の方々の健康づくりの場となっております。</p> <p>また、鳥取県内の陸上競技大会、西伯郡民体育大会、名和マラソンフェスタの開催など、町内外だけにはとどまらず、県内外からも沢山の方々に利用され地域の活性化にも繋がっています。</p> <p>この名和総合運動公園陸上競技場のグラウンドの現状は、経年劣化により走路表面がボロボロになり、走ると滑りやすくなって危ない状況にあります。8年前に一部改修した百メートル走路も既に劣化しており、全面的に改修しなければ安全な大会運営も困難な状況にあります。また、来年ある陸上連盟の公認検定も受けることができない状況にあります。</p> <p>県内の陸上競技大会は主に布勢、倉吉、米子の3会場で開催されていますが、近年大会数も増え日程調整など難しい状況にあり、名和総合運動公園陸上競技場が改修されれば、幾つかの大会を名和総合運動公園陸上競技場に、また、陸上合宿なども誘致でき地域の活性化につながり大山寺宿や山香荘などの利用促進にも繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>以下の件についてお伺いします。</p> <p>① 名和総合運動公園陸上競技場合宿の誘致の現状について ② 名和総合運動公園陸上競技場の活用方法と整備方針について ③ 陸上連盟の公認検定の更新について</p>	<p>町長 教育長</p> <p style="text-align: right;">  </p>

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質問事項と要旨	質問の相手
<p>2、緊急情報キット(緊急医療情報キット, 命のカプセルなど)について</p> <p>この『緊急情報キット』とは、救急および緊急時に迅速な支援が行えるよう、緊急連絡先やかかりつけ医などの情報を専用の容器に入れ、自宅の冷蔵庫に保管することで、万一の場合に備えることを目的とするものです。</p> <p>使用方法としては、救急情報などを緊急情報キット容器の中に入れて、冷蔵庫に保管しておきます。冷蔵庫の普及率は 98.1%と高く(電子レンジ 96.1%、テレビ 96.9%)また、利用スタイルを想定すれば複数台あることが想定しにくいからです。次に玄関のドアの内側や、冷蔵庫のドアに、『緊急情報キット』のあることを示すステッカーを張ります。緊急時には『緊急情報キット』を参考に迅速かつ適切な救急活動を行います。</p> <p>鳥取県内では南部町、岩美町、若桜町、八頭町、三朝町、伯耆町、日南町の自治会及び自治体で導入されています。</p> <p>大山町内でも既に地域自主組織で取り組まれている地域もありますが、救助する側の統一規格がなされた環境が整ってこそ迅速な救助が可能と思われます。</p> <p>以下の件についてお伺いします。</p> <p>① 大山町の独居並びに高齢者世帯数は約 2,000 世帯ですが、救急事案発生時のスムーズな情報取得の必要性についての考えは</p> <p>② 事故・急病が発生した最初の 10 分を『プラチナの 10 分』と表現し、症状の悪化を防ぐ可能性や社会復帰率に大きく関与してきますがこの『プラチナの 10 分』についての認識は</p> <p>③ 『緊急情報キット』の導入の考えは</p>	町長

(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。